

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	池田 雅明
主な担当科目	コードプログレッション(アドバンス),コードプログレッション(ベーシック),コンテンポラリーミュージック・スタディ特別演習①,ジャズ&コンテンポラリーアンサンブル特別演習Ⅰ①,ジャズ&コンテンポラリーアンサンブル特別演習Ⅰ②,ジャズ&コンテンポラリーアンサンブル特別演習Ⅱ①,ジャズ&コンテンポラリーアンサンブル特別演習Ⅱ②,ジャズアンサンブルⅠ①,ジャズアンサンブル②,ジャズアンサンブルⅠ③,ジャズアンサンブルⅠ④,ジャズアンサンブルⅡ①,ジャズアンサンブルⅡ②,ジャズアンサンブルⅡ③,ジャズアンサンブルⅡ④,ジャズコンボ①,ジャズの歴史と作品,ジャズビッグバンド①,ジャズ演奏法④,ポピュラー作曲・編曲法①,ポピュラー作曲・編曲法②,ライブ実習Ⅰ①,ライブ実習Ⅰ②,ライブ実習Ⅱ①,ライブ実習Ⅱ②,卒業ライブ,実技グループレッスン[インストゥルメンツⅡ①]
シラバス	<a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a> ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	講義科目や理論系授業の更なるIT化に向けてTeamsやFormsを活用する等、より円滑な授業を目指す。また海外研修再開やワークショップ、日豪交流を含めた連携を復活させ、学生へのモチベーションアップを図る。更には新規開講大学院(ジャズ&コンテンポラリーミュージック)の授業内容拡充を目指す。
2023年の教育に関する自己評価	テキストをPDF化し、おおよその授業はiPad画面をスクリーンに投影しながら行う方法にシフトした。ジャズ&コンテンポラリーミュージック大学院の新規科目として各講師の専門に特化したオムニバス形式の特別授業や新しくノンジャンルでのアンサンブル、またミュージシャンに特化した英語の新授業や近代のジャズ史開講等、今までに無く、これからのポピュラー音楽業界に必要な不可欠な要素を模索した。
2023年のFD活動に関する自己評価	大学主催のFD研修会には全て出席し、今後の運営方針、働き方改革、様々な学生への対応法を含め、再考する良い機会となった。学内組織におけるFDでは各講師からの貴重なご意見に共感する部分も多く、来年度のコースとしてより良き授業展開に繋げる策を講じて行きたい。
授業改善のために取り入れた研修内容	学内組織のFDで取り上げた「多様な背景を持つ学生が持続的に学べる学修環境とは」に対し、増大する留学生へのコミュニケーション問題を考え、翻訳アプリの活用や、留学生同士での助け合いの促進、また普段から積極的な呼びかけを継続した。またFDSD合同研修会のトピックとなったデートDVIに関して、学生への干渉も慎重にするべき事を学び、取り入れた。

## 2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2327 教員名:池田 雅明

### 1)アンケート結果に対する所見

開講 5 年目となる「ジャズの歴史と作品」に於いては内容を更にスリム化し、トピック毎のファイルを Teams 上にアップ、それに沿った演奏家紹介を実際の動画と共に説明する方式により、概ねジャズに対して新しい発見と興味を持てたとの評価をいただいた。

ポピュラー作編曲法等の理論系授業では、出来るだけ今の音楽ニーズを捉えるべく、学生からの楽曲提供による学生自身のアナライズによる答えを誘導する授業法を実施して好評を得ていたが、今年度の新入生からは難易度が若干高かったというご指摘もいただいた。

実技系アンサンブル授業に関しては、理論系授業に比べてジャズ、ポピュラー系共に学生とのコミュニケーションが図りやすい為、レベルに合った細かな指導や、様々な講師が登壇して状況に応じたセッションを行う方式が学生への満足度に繋がっていると思われる。

### 2)要望への対応・改善方策

ポピュラー音楽理論「コードプログレッションベーシック」授業に対して、昨年度担当した A(上級)クラスでは授業難易度を下げて欲しいとのフィードバックをいただいた。これはそもそもこのクラスには今までいなかった中級レベルの学生が増えた事が原因と思われるが、他にも現在新入生に対して行われているプレイスメントテストによるクラス分け(3クラス A,B,C)の人数配分が均等になっている事や、新入生全体の音楽理論知識レベルが下がっていることにも起因すると思われる。この対策として、来年度以降は C クラスのレベルに相当するプライマリークラス数を大幅に拡充し、各学生のレベルに合ったクラス分けの実施に努めたい。

「ジャズの歴史と作品」に対しては出席率の問題や出欠方法に関してご指摘をいただいたが、こちらは開講時限が1限だったということもあり、来年度にはメディア授業とすることで解決を図りたい。

### 3)今後の課題

「ジャズアンサンブルⅠ」(ビッグバンド)に於いては選曲の偏りに留意し、特に初級クラスではトラディショナルな楽曲にも重きをおきたい。「ジャズアンサンブルⅡ」(ジャズコンボ)に於いては学年別ではなく、レベルによるクラス分けを切望されているので、来年度の Semester 制に合わせ、解決策を模索していきたい。

以上